5月5日は こどもの日/ 端午の節句

こどもの日は、こどもの健全な発達を願う日です。もともと５月５日は端午の節句(たんごのせっく)と言い、中国から伝わった風習をもとに、奈良時代から続く古い行事です。

もとは月の端（はじめ）の午（うま）の日という意味が「端午」で、５月だけではありませんでした。

その後、午（ご）と五（ご）の音が同じですので毎月５日という意味に変わりましたが、「五」が二つ重なる５月５日を端午の節句と呼ぶようになったと言われています。

昔は悪いことが起きないように、薬草を摘み、弓矢で悪い鬼を追い払いましたが、今では男の子が健康に育つように、願う日となりました。

去年（2013/5/5）の「こどもの日」には、「こどもの日の不思議」と題し掲示していますのでご覧下さい。

以上